

令和3年度 センター研究 音楽・図工・美術グループ

図工・美術

一人一台端末を使った題材例 (Google Classroomを活用)

青森県総合学校教育センター
義務教育課 伴 貴代

ICTの活用について

教育・学習におけるICT活用の特性・強み (GIGAスクール構想仕様において活用できるソフト・機能(例))

1人1台端末、高速大容量の通信ネットワーク環境下におけるICT活用の特性・強み	ソフト・機能
①多様で大量の情報の取扱い、容易な試行錯誤 (例) プログラミングにおける試行錯誤の繰り返しなど 論理的思考・課題解決	ウェブブラウザ、文書作成、プレゼンテーション、プログラミング
②時間的制約を超えた情報の蓄積、過程の可視化 (例) 写真・動画の撮影・保存による学習過程の可視化による学習の振り返りや目標設定への反映	(①のソフト・機能に加え、) クラス管理、写真・動画撮影・編集・保存
③空間的制約を超えた相互かつ瞬時の情報の共有(双方向性) (例) ウェブ会議機能、ファイル共有機能等による学校と家庭他の学校・地域や海外との交流のような距離が離れた場をつないだ学習、他者との意見共有	(①のソフト・機能に加え、) コメント、アンケート、チャット、電子メール、ウェブ会議、ファイル共有

令和3年(2021)6月「GIGA StuDx 推進チームの取組について 新学習指導要領とGIGAスクール構想の関係」を参考に作成

出典:令和3年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会 資料 2

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの 授業改善

小学校学習指導要領 第7節図画工作 第3 指導計画の作成と内容の取扱い
1 指導計画作成上の配慮事項(1)

題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。

その際、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ること。



ICTを活用した授業でも、この視点が大切

今回はGoogleスライド
を使用

題材例①

活用例

- * 図工、美術の短時間題材
- * 毎時間のアイスブレイク
- * 年間指導計画に複数回
設定・・・など



ぴったりの形・色

活動中の操作：Google スライド上での
コピー＆ペースト、色の変更

形や色に着目し、お題にぴったりだと思えるものを一つ選ぶ
活動

図工・美術 題材例① ぴったりの形・色

『造形的な見方・考え方』(図工)
感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだす。

今の気持ち
にぴったり
なのは？



朝、友達と昼休みに何をして遊ぶか話していて、ボールを使おうか、縄跳びをしようか、いろいろ考えて楽しみな気持ちになったので、この形のでこぼこのところがいろんな遊びに見えたし、楽しいことを考えていたので黄色もぴったりだと思い、選びました。

図工・美術 題材例① ぴったりの形・色



Googleスライド1枚目には、活動の内容を示しています。

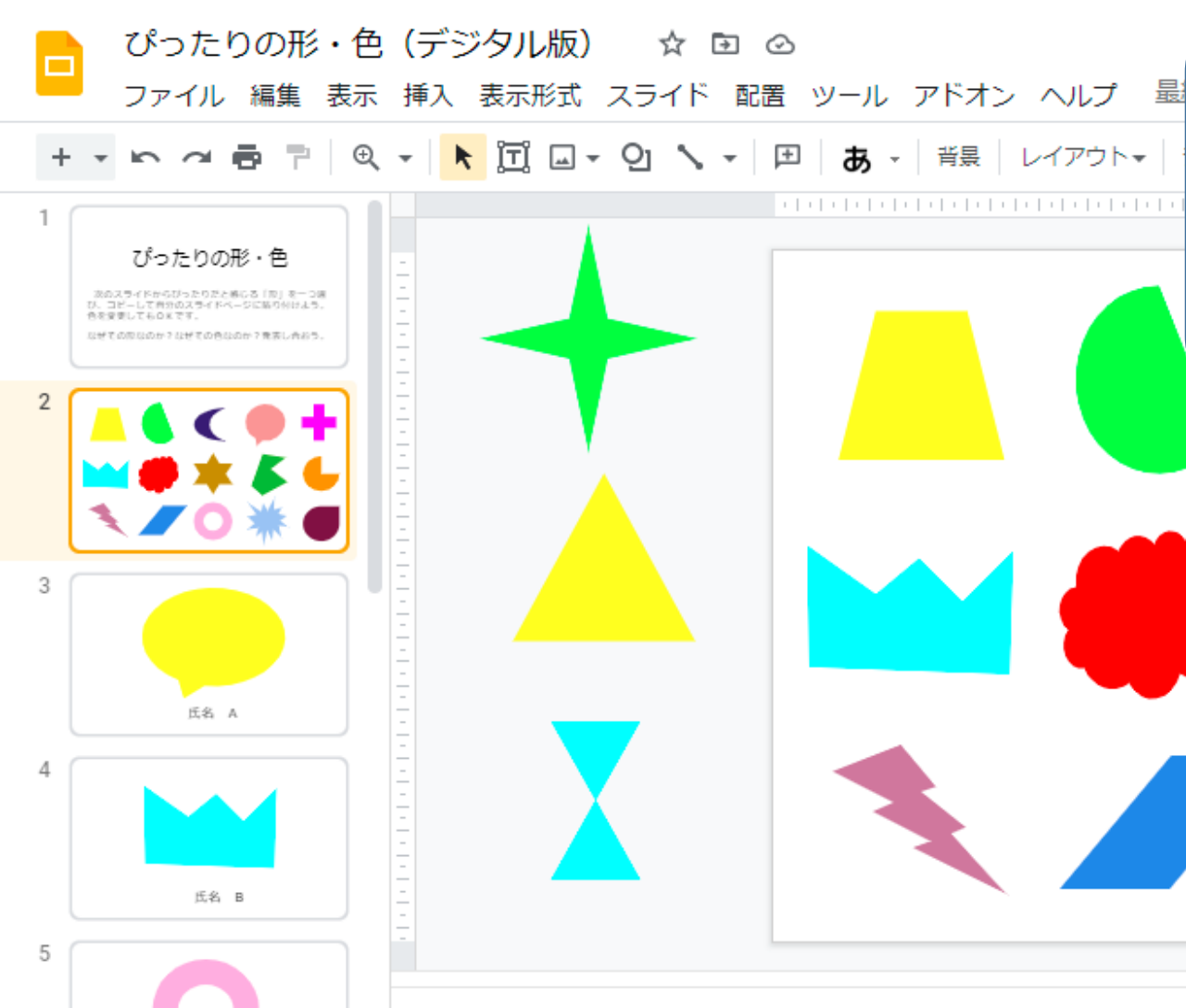
ぴったりの形・色

次のスライドからぴったりだと感じる「形」を一つ選び、コピーして自分のスライドページに貼り付けよう。色を変更してもOKです。

なぜその形なのか？なぜその色なのか？発表し合おう。



図工・美術 題材例① ぴったりの形・色



Googleスライド2枚目には、様々な形を載せています。

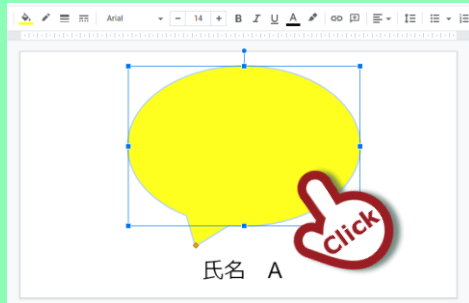


図工・美術 題材例① ぴったりの形・色



形の色を変更することで、よりぴったりの形・色になります。

①変更したい形をクリック



②バケツマークで色を変更

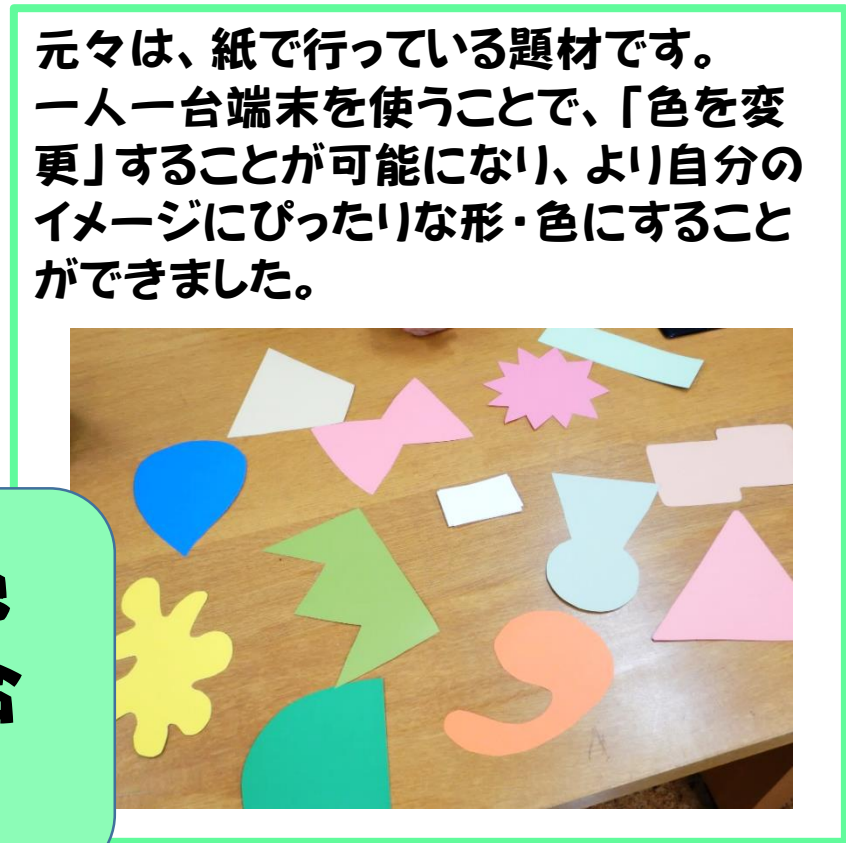


Googleスライド3枚目からは、子供たちのページです。
自分の氏名のページに形をコピー&ペーストします。

氏名 A



図工・美術 題材例① ぴったりの形・色



基本的な操作であるコピー&ペースト、色の変更を、この題材を使って練習できます。
(※本題材では、端末の基本的な操作であることから、図工や美術の「技能」の指導及び評価を位置付けないこととしました。)

題材例②

Googleスライドを活用した
アニメーションづくり

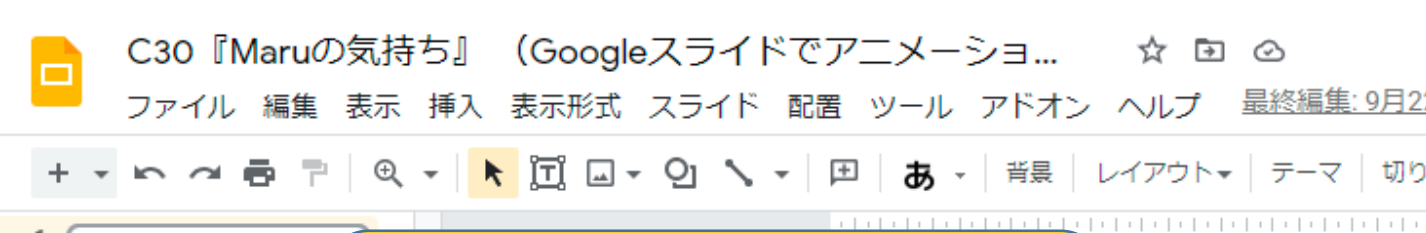


Maruの気持ち

活動中の操作: Google スライド上での
コピー&ペースト、色や大きさの変更

「○」の気持ちを基に主題を生み出し、色や動きの効果を考え
創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。

図工・美術 題材例②Maruの気持ち



①全員同じ「○」からスタートします。

②1枚目のスライドをコピー&ペーストして、「○」を自分の主題に合わせて動かしたり、色を変えたり工夫していきます。

Googleスライドに題材名を示し、子供一人一人に課題として配付します。(今回は、Googleクラスの「授業」に投稿しました。)

『Maruの気持ち』

学校 氏名

「主題」は「○の気持ち」です。どんな気持ちをどんな動きで表すのか、考えながら活動します。



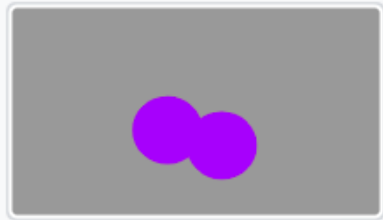
図工・美術 題材例②Maruの気持ち

作品例

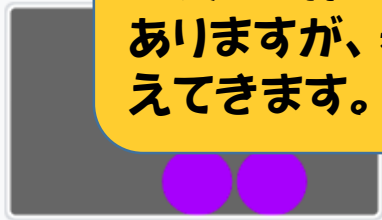
「希望」を主題に○が動いていきます。

八戸市立白山台中学校 氏名 接待 希

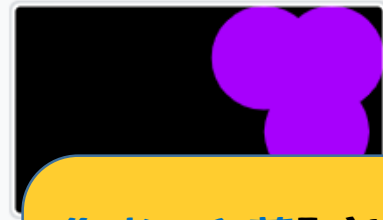
1



2



5



6



7



8



13

14

15

16

▶ プレゼンテーションを開始



作者の言葉『はじめのうちは迷い、仲違いすることもあります。希望の光が見えてきます。』

生徒の「提出済み」の作品は、教師が「プレゼンテーションを開始」で鑑賞します。
※「プレゼンテーションを開始」でスライドショーになります。
(自動再生→1秒おきに設定)

作者の言葉『暗い気持ちの場面は、背景を灰色から黒へと変化させ、○も離れたりくっついたりする不規則な動きで表しました。』



図工・美術 題材例②Maruの気持ち

元々は、消しゴムハンコで「○」をつくり、どう動くかを考えてつくるパラパラ漫画の題材です。

パラパラ漫画を、1枚ずつタブレットで写真撮影し、GoogleスライドやPowerPointに貼り付けてアニメーションにすることもできます。

コマ撮りして編集できる無料アプリは多数ありますが、GoogleスライドやPowerPointでも、アニメーションは制作できます。

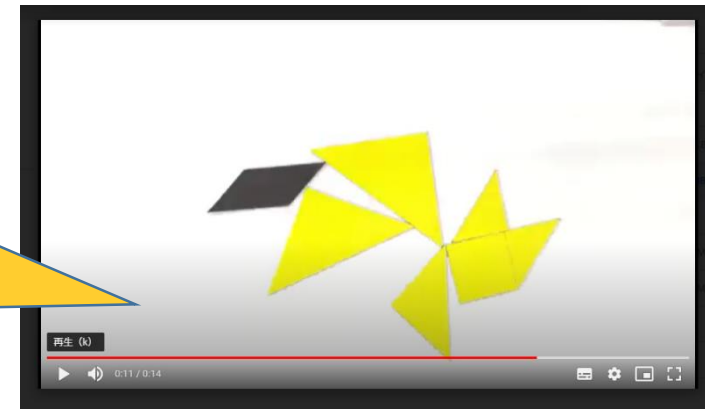
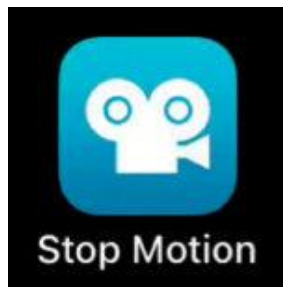


図工・美術 題材例 コマ撮りアニメーション

KOMA KOMA



Stop Motion Studio



【技能の評価について】

端末の基本的な操作に限定して題材を設定するなら、「技能」の指導及び評価は位置付けない、とします。

Stop Motion Studioで制作したアニメーション例

無料アプリを活用する場合も、題材のねらいを明確にしましょう。

